

# 中国思想専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時
中国思想概論	宋代思想史概説	2	三浦 秀一	3	火	1
中国思想概論	中国中世思想史概論	2	齋藤 智寛	4	火	1
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級 1	2	齋藤 智寛	3	火	5
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級 2	2	三浦 秀一	4	火	5
中国思想各論	中国中世仏教の諸問題	2	齋藤 智寛	5	木	2
中国思想各論	明末の陽明学	2	三浦 秀一	6	木	2
中国思想各論	中国思想文献の研究—王守 仁(陽明)の文献を中心に	2	永富 青地	集中(5)		
中国思想演習	『延平答問』を読む	2	三浦 秀一	5	水	2
中国思想演習	中国中世儒家思想文献精 読	2	齋藤 智寛	6	水	2

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB32101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

宋代思想史概説

2. Course Title (授業題目)：

Intellectual History during Song dynasty

3. 授業の目的と概要：

西暦 960 年に創建され、1279 年に滅亡した宋王朝（北宋・南宋）のもとで思想活動を営んでいた人びとの思想を、現代語に翻訳した原典を用いながら紹介し、思想相互の歴史的関連性について解説をおこなう。宋代の思想家は、当初、それ以前の思想界の影響を受け、いわゆる儒仏道三教のそれぞれに対し融和的な態度を採りながら思想活動を展開していたが、やがてそのなかから独自の儒学思想を生み出してゆく。欧陽修・司馬光・王安石・蘇軾・蘇徹といった知識人が華々しい活動をおこなう一方、後の朱子学へと繋がる思想を編み出した周敦頤・程顥・程頤・張載らがそれぞれに思想活動を営むのであり、そうした知的遺産を継承するなかで、朱熹がスケールの大きな思想体系を構築し、その思想に対して陸九淵が批判活動を展開する。以上のような思想の展開について、個別に説明を加えてゆきたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course covers the intellectual history during Song China to help students understand the characteristics of Chinese literati from a historical and philosophical perspective through reading some sources translated into Japanese .

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国近世の前期に相当する宋代に生きた知識人の思想内容と、それらの史的展開について、原典にもとづいた理解を得る。
- (2) いわゆる宋学の思考方法に慣れる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

The primary goal of the class is for students to understand the intellectual history during Song China grounded on the facts through representative readings from primary and secondary sources.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

ガイダンス・序論

唐代後半の新思潮

北宋初期の儒仏道三教

慶暦期の知識人①

慶暦期の知識人②

北宋五子①

北宋五子②

北宋五子③

蘇軾と蘇徹

蘇門人士と程門人士

朱熹の思想①

朱熹の思想②

陸九淵の思想

朱陸後学

元朝の思想

8. 成績評価方法：

3 回の課題レポートによって成績を判断する。

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、配付資料によって授業をおこなう。基本的な参考書は第 1 回の講義において紹介する。

10. 授業時間外学習：

第 1 回講義において紹介された参考書等を読むとともに、配付資料を復習し、レポートの作成に備える。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

特になし。

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB42101, 科目ナンバリング：LHM-PHI202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国中世思想史概論

2. Course Title (授業題目)：

Intellectual history in medieval China

3. 授業の目的と概要：

北魏と南朝梁の学術・宗教から、隋唐における南北学術の統一、唐代思想史の展開と五代十国の地方政権による総括に至るまで、6世紀～10世紀の中国思想史を概述する。儒仏道三教の交流により魏晋以来の思索がさまざまに結実し、やがて近世思想の礎となるまでの思想史の展開を、原資料の翻訳を紹介しながら解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course makes a general survey of intellectual history of 6th to 10th century China, started from scholarship and religion in the Northern Wei and Liao, through the unification of scholarship of North and South China, to conclusion of Tang thought by local governments in the Five dynasties era. In this period, Wei-Jin philosophy has developed into various kind of thought based on exchange of the three teachings. This course explains development of intellectual history of this period, introducing some famous philosophical works by Japanese translation.

5. 学習の到達目標：

講義で取り上げられた諸思想と歴史的背景とについて理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

This course helps students understand various thought of medieval China and its historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、北魏の仏教と道教
- 3、南朝梁の思想と学術 (1)
- 4、南朝梁の思想と学術 (2)
- 5、六朝士大夫の宗教生活
- 6、『顔氏家訓』の思想
- 7、隋代の仏教思想とその影響 (1)
- 8、隋代の仏教思想とその影響 (2)
- 9、初唐の道仏論争
- 10、『五経正義』と初唐の儒学
- 11、唐代の道教と老荘解釈
- 12、中唐の士大夫思想：韓愈と李翱
- 13、中唐の三教思想
- 14、五代十国期における中世思想の総括
- 15、まとめ

8. 成績評価方法：

学期中の小テストまたは小レポート (50%)、期末レポート (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書は講義中に随時紹介する。

10. 授業時間外学習：

紹介された参考書は積極的に読んでみることを。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB32501, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国思想文献講読・初級 1

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Classical Chinese: Using Philosophical Texts 1

3. 授業の目的と概要：

句読点と訓点が付された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。テキストとしては、安井息軒『論語集説』を予定している。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This semester we will be reading the Rongo Shusetsu 論語集説 by Yasui Sokken 安井息軒. The purpose of this course is to be familiar with thinking method and retric of philosophical texts.

5. 学習の到達目標：

訓点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

The purpose of this course is to help students read Chinese philosophical text with punctuation marks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 漢文基礎文法 1
3. 漢文基礎文法 2
4. 漢文基礎文法 3
5. 『論語集説』読解 1
6. 『論語集説』読解 2
7. 『論語集説』読解 3
8. 『論語集説』読解 4
9. 『論語集説』読解 5
10. 『論語集説』読解 6
11. 『論語集説』読解 7
12. 『論語集説』読解 8
13. 『論語集説』読解 9
14. 『論語集説』読解 10
15. 『論語集説』読解 11

8. 成績評価方法：

予習状況と討論での発言状況 (100%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

10. 授業時間外学習：

辞書を引く、訓読と現代日本語訳を準備すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

12. その他：

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB42503, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国思想文献講読・初級 2

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Chinese Philosophical Classics 2

3. 授業の目的と概要：

思想的な内容をもつとともに、訓点などが施された中国古典のテキストに対し、受講者各自が訓読や現代語訳、注解をおこなう。そうした訓練を重ねるなかで、高校段階における「漢文訓読」のレベルを超え、中国の古典文に対する深い読解が可能になるような基礎力を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly and to examine the sources entirely, which are foundations of learning Chinese philosophy. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of this course.

5. 学習の到達目標：

思想系の中国古典文において特徴的な語彙や語法を知るとともに、古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will learn to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese along the specific philosophical contexts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：中国古典文の読解と討論 (1)

第3回：中国古典文の読解と討論 (2)

第4回：中国古典文の読解と討論 (3)

第5回：中国古典文の読解と討論 (4)

第6回：中国古典文の読解と討論 (5)

第7回：中国古典文の読解と討論 (6)

第8回：中国古典文の読解と討論 (7)

第9回：中国古典文の読解と討論 (8)

第10回：中国古典文の読解と討論 (9)

第11回：中国古典文の読解と討論 (10)

第12回：中国古典文の読解と討論 (11)

第13回：中国古典文の読解と討論 (12)

第14回：中国古典文の読解と討論 (13)

第15回：中国古典文の読解と討論 (14)

8. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容 (50%)、討論への参加度 (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：

漢和辞典を活用した、徹底的な予習。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

Semester : 5, 単位数 : 2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB54204, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国中世仏教の諸問題

2. Course Title (授業題目)：

Buddhism in medieval China

3. 授業の目的と概要：

唐・道宣『続高僧伝』の雑科声徳篇、感通篇、護法篇を材料に、士大夫との交流、実践仏教、三教交渉といった中国中世仏教の諸問題について考察する。『続高僧伝』の記事を『広弘明集』『集古今仏道論衡』などの道宣によるその他の編纂物や、同時代の仏教史書の記述とも比較しつつ、仏教史研究の資料とする視点と、道宣の思想や太宗朝の思潮をうかがう視点とから論じたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course provides explanations of various kind of topics about Buddhism in medieval China, such as the layman Buddhism, the Buddhist practice and the ideological exchange between three teachings, focusing on the some chapters of the Xu Gaoseng Zhuan(續高僧傳) such as the chapter of good voice monks, the chapter of miracle monks and the chapter of protention of Buddhism. These hagiographies will be read various points of view in this course, such as a history of medieval Chinsese Buddhism or philosophical texts which remain thought of Daoxuan and Buddhists in the Taizong (太宗) period. The course also compares the Xu Gaoseng Zhuan with other Daoxuan's works such as the Guang Hongming Ji(廣弘明集), the Ji Gujin Fodao Lunheng(集古今佛道論衡) or Buddhist histories in the early Tang.

5. 学習の到達目標：

講義で取り上げた諸資料の成り立ちと内容を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

This course helps students understand formation and contents of biographies of eminent monks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『続高僧伝』雑科声徳篇と士大夫の仏教理解(1)
- 3、『続高僧伝』雑科声徳篇と士大夫の仏教理解(2)
- 4、『続高僧伝』雑科声徳篇と士大夫の仏教理解(3)
- 5、『続高僧伝』雑科声徳篇と士大夫の仏教理解(4)
- 6、『続高僧伝』感通篇と初唐の仏教史書(1)
- 7、『続高僧伝』感通篇と初唐の仏教史書(2)
- 8、『続高僧伝』感通篇と初唐の仏教史書(3)
- 9『続高僧伝』感通篇と小説(1)
- 10、『続高僧伝』感通篇と小説(2)
- 11、『続高僧伝』感通篇と小説(3)
- 12、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(1)
- 13、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(2)
- 14、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(3)
- 15、まとめ

8. 成績評価方法：

レポート(100%)

9. 教科書および参考書：

講義中に随時紹介する。

10. 授業時間外学習：

講義で取り上げた高僧伝類の原典や、紹介された参考書は積極的に読むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB64205, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

**1. 授業題目：**

明末の陽明学

**2. Course Title (授業題目)：**

Yangming Thought in the late Ming Dynasty

**3. 授業の目的と概要：**

明朝嘉靖期に王守仁が確立し、その愛弟子たちによって知識人社会に拡がりだし陽明学を、それに続く隆慶・万暦期の人士たちは、どのように受けとめたのか。本講義では、この時期を代表する幾人かの知識人が相互に贈りあった書簡の分析などを手がかりに、この問題の解明をこころみる考察と並行して、晩明期の思想家ないし思想現象について論じた最近の論著を批判的に読む。そうした作業をとおして、当該時代の研究に新たな一歩を踏み出す上での手がかりを探りたい。

**4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)**

Students will engage in classroom discussion and review recent research papers on topics relating to the pre-modern Chinese philosophy. We will read representative examples of important styles of Japanese academic writings in the field of Chinese philosophy, so as to develop students' ability of perusal.

**5. 学習の到達目標：**

陽明学関連の思想文献に示されたその独自の思考方法に慣れ、読解の手がかりをつかむ。

万暦人士が構想した思想、およびその思想史的位置について、専門的な知識を得る。

学術論文とりわけ晩明期の思想論文の探索、読解、批判に習熟する。

**6. Learning Goals(学修の到達目標)**

Students will develop both their research skills into topics relating to the pre-modern Chinese philosophy and their critical reading skills.

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

第1回：ガイダンス

第2回：鄒元標と呉達可（1）

第3回：鄒元標と呉達可（2）

第4回：晩明思想関連論文選読（1）

第5回：鄒元標と高攀龍（1）

第6回：鄒元標と高攀龍（2）

第7回：晩明思想関連論文選読（2）

第8回：鄒元標と曹于汴（1）

第9回：鄒元標と曹于汴（2）

第10回：晩明思想関連論文選読（3）

第11回：鄒元標思想の思想史的位置（1）

第12回：晩明思想関連論文選読（4）

第13回：鄒元標思想の思想史的位置（2）

第14回：晩明思想関連論文選読（5）

第15回：まとめ

**8. 成績評価方法：**

レポート（50%）

授業時間内における報告内容と討論への参加度（50%）

**9. 教科書および参考書：**

教科書は使用せず、プリントを配布する。

参考書は授業時間内にも紹介するが、荒木見悟『明末宗教思想研究』（創文社）は必読。The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

**10. 授業時間外学習：**

参考書・参考文献として紹介された資料を精読する。とくにそれらが使用した原典に関しては、その文献史料にまで溯り、その内容を自分なりに読み解くことによって、論者の解釈との異同を明確にしておく。また、自身が担当する論文について、論証方法や独自性などに注意しながら、その概要をまとめ、報告の準備をおこなう。自身が担当しない論文についても、事前に読んでおく。

**11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**12. その他：**

特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

semester：集中， 単位数：2

担当教員：永富 青地（非常勤講師）

講義コード：LB98809， 科目ナンバリング：LHM-PHI302J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

**1. 授業題目：**

中国思想文献の研究—王守仁（陽明）の文献を中心に

**2. Course Title (授業題目)：**

Study of the documents on Chinese Philosophy - Mainly on the documents of 王守仁

**3. 授業の目的と概要：**

思想史の研究は、基本的に哲学概念がいかんして成立し、そしてそれが如何に変遷していったかを扱う。しかし、哲学概念とは、常にテキストを媒介としてのみ伝播していくものなのである。テキストの伝播を抜きにして、哲学史を語ることができるだろうか。本講義においては、そのような思想文献のテキストとしての成立、伝播、そして変容の実例として、王守仁（王陽明）の語録と詩文集の明清における諸相を取り上げることとした。

**4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)**

**5. 学習の到達目標：**

王守仁の著作を例として、中国近世の思想文献を扱う際の注意点と、それを利用していかに研究を進めていくかについて、学生諸君に理解を深めていただきたい。

**6. Learning Goals(学修の到達目標)**

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

授業計画

- 1, ガイダンス
- 2, 言葉からテキストへ：王守仁の言葉は如何に記録されてきたのか
- 3, 『伝習録』の成立と流布（その一）
- 4, 『伝習録』の成立と流布（その二）
- 5, 『伝習録』の成立と流布（その三）
- 6, 『王文成公全書』成立以前の王守仁の詩文集（その一）
- 7, 『王文成公全書』成立以前の王守仁の詩文集（その二）
- 8, 『王文成公全書』の成立と出版
- 9, 『王文成公全書』出版以降の詩文集について
- 10, 『大学古本傍釈』について
- 11 『朱子晩年定論』について（その一）
- 12, 『朱子晩年定論』について（その二）
- 13, 江戸期における王守仁著作の研究—佐藤一斎を例として（その一）
14. 江戸期における王守仁著作の研究—佐藤一斎を例として（その二）
15. 王守仁文献研究の回顧と展望

**8. 成績評価方法：**

平常点及び課題による。

**9. 教科書および参考書：**

教科書 プリントを随時配布する。

参考書 永富青地『王守仁著作の文献学的研究』

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

**10. 授業時間外学習：**

事前に配布する講義資料について、一通り目を通しておくこと。

**11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**

履修上の注意 極端に出席が悪い場合には評価の対象としない。

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB53204, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

『延平答問』を読む

2. Course Title (授業題目)：

Critical Reading of "Yanping Dawen"

3. 授業の目的と概要：

中国近世を代表する思想家・朱熹（朱子、1130-1200）が三十代半ばに編纂した『延平答問』（正編）を精読することによって、当時の朱熹がその師匠である李延平（諱侗、延平はその号、1093-1163）からどのような思想を吸収し、みずからの思想を形成していたのかという問題の解明をこころみる。授業は演習形式でおこない、担当者は、『延平答問』が収める朱熹と李侗とによる往復書簡をわかりやすい言葉で和訳することはもとより、書簡が引く『論語』や『孟子』などの古典や北宋諸儒の語録などに関して原典にもとづいた注釈を丁寧にはどこすとともに、関連する朱熹の文章などの紹介をおこなう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

Students are taught how to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese in their specific philosophical contexts. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of the course. The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly, learning to examine the sources entirely, which are foundations of learning Chinese philosophy, and learning the knowledge of Chinese ancient thought.

5. 学習の到達目標：

壮年期における朱熹の思想について、原典に即した理解を得る。

宋代における道学系文献の読解方法を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

Students will develop their abilities to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：『延平答問』訳注発表（1）

第3回：同討論

第4回：『延平答問』訳注発表（2）

第5回：同討論

第6回：『延平答問』訳注発表（3）

第7回：同討論

第8回：『延平答問』訳注発表（4）

第9回：同討論

第10回：『延平答問』訳注発表（5）

第11回：同討論

第12回：『延平答問』訳注発表（6）

第13回：同討論

第14回：『延平答問』訳注発表（7）

第15回：同討論

8. 成績評価方法：

発表（60%）、受講態度（40%）

9. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。

参考書・参考文献に関しては、第1回の授業時に紹介する。

10. 授業時間外学習：

担当者は、発表の準備を入念におこなう。担当者以外の受講者も、担当者と同等もしくはそれ以上に、読解のための予習をおこなう。また、発表時に配布されたレジュメ等に関しては、それを改めて読み直し、次回以降の授業に活用する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

特になし。

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

semester：6, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB63203, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

**1. 授業題目：**

中国中世儒家思想文献精読

**2. Course Title (授業題目)：**

Reading and Research: the Confucian works in medieval China

**3. 授業の目的と概要：**

魏晋南北朝時代の『周易』注釈書を選読する。漢文読解力を向上させつつ、原典を通して中国中世に特徴的な思惟についての理解を得るのが目標である。

**4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)**

This semester we will be reading commentaries on the Book of change(周易) which have written in Wei-Jin through Northern and Southern dynasties era. This course aims to improve the students' ability to read literally Chinese texts and understand thought of medieval China by reading original text.

**5. 学習の到達目標：**

句読点のほどこされていない中国古典文を読み、日本語に翻訳することができる。

**6. Learning Goals(学修の到達目標)**

The purpose of this course is to help students read literary Chinese text without punctuation and translate into Japanese.

**7. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 導入
2. 『周易略例』会読1
3. 『周易略例』会読2
4. 『周易略例』会読3
5. 『周易略例』会読4
6. 『周易略例』会読5
7. 『周易略例』会読6
8. 『講周易疏論家義記』会読1
9. 『講周易疏論家義記』会読2
10. 『講周易疏論家義記』会読3
11. 『講周易疏論家義記』会読4
12. 『講周易疏論家義記』会読5
13. 『講周易疏論家義記』会読6
14. 『講周易疏論家義記』会読7
15. まとめ

**8. 成績評価方法：**

発表と討論での発言状況 (100%)

**9. 教科書および参考書：**

教科書は使用せず、プリントを配布する。

**10. 授業時間外学習：**

予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

**11. 実務・実践的授業/Practical business：**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

**12. その他：**

